

## RS ウイルスワクチン「アブリスボ」についてのご案内



◆当院では、新生児のRS ウイルス感染予防のため、ご希望の方にアブリスボの接種を行っています。

### RS ウイルス感染症とは？

RS ウイルスに感染することによって起きる呼吸器の感染症のことです。生まれたばかりの赤ちゃんから高齢者まで感染します。症状は軽い風邪から重い気管支炎や肺炎の症状まで様々ですが、特に生まれたてから6ヶ月以内の赤ちゃんの免疫は未成熟で、RS ウイルスに感染すると重症化するといわれています。

### RS ウイルスワクチン 「アブリスボ」について

妊婦さんに接種することによりRS ウイルスを原因とする気管支炎や肺炎を予防する母子免疫ワクチンです。

妊娠28週から36週の間接種することで有効性が高くなることがわかっています。

発症予防効果は50%、重症化予防効果は80%で、効果は赤ちゃんの出生後6ヶ月間期待できるといわれています。（なお、アブリスボ接種後14日以内に出産した場合の赤ちゃんへの有効性は確認されていません。）

**接種時期：**妊娠28～36週 妊娠中に1回、筋肉注射をします。

**費用：**30,000円（税込）

◆火曜日、水曜日の午後 予約制で行っています。

予約については、産婦人科外来受診時または電話にてお問い合わせください。

1週間前までに予約をお願いします。

（お問い合わせについては、下記を参照して下さい）

**持ち物：**母子手帳、共通診療ノート（ある方）、予防接種の問診票

**当日の流れ：**総合受付→産婦人科外来受付（予約時間の10分前）→体温・体調の確認、問診票の確認→医師の問診→ワクチン接種

ワクチン接種後は、体調の変化がないか確認するため20分ほど休んでから帰宅となります。



★ご不明な点などがある場合には医師または助産師へご相談ください。

穂高病院 産婦人科外来 0263-82-2474

電話での予約またはお問い合わせ時間：木、土、日、祝日以外の13:30～15:30